

## 令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評 価 コ メ ン ト
			R1	R2	R3		
広島県	竹原市	田万里「有機あぶらの里」プロジェクト協議会	●	○	□	B	H30.7の豪雨による災害が米の作付ができない農地を地元の農家の協力と理解を得て借りることができ、菜の花の作付けにより農地の有効活用ができた。 令和元年度の取組では、地元産の米を活用して玄米茶と米粉の揚げパンを試作するとともに、商品の魅力を消費者にうったえるパッケージの製作を実施した。試作品については、東京で試飲・試食会を兼ねた展示会を開催し、来場者に田万里の魅力や農作物の生産へのこだわりを伝え、来場者から意見を聴くことができた。 また、田万里地域の方に試作品を試飲・試食してもらったところ高い評価を得ることができ、この取組が地域の活性化につながっていくという期待を高めることができた。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)  
(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である半田 敏員 氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

竹原市農業委員会 農地利用最適化推進委員 半田 敏員

#### 【意見聴取の概要】

田万里地区では担い手不足、農業者の高齢化が進み、農地の荒廃が懸念される中、米の作付ができない農地を有効活用し、菜の花を栽培することで田万里の良好な景観が新たに形成されている。  
商品開発については、改善の余地はあると感じるが、最初の試作品としては十分だと思う。  
今後は、農作業だけでなく、開発した商品の加工についても体制を整えてほしい。また、この協議会の取組を起点として、地域ぐるみでの発展につながるよう期待している。

## 別紙2

(任意評価様式第3号)

令和元年度	事業開始 1年目	広島県竹原市	田万里「有機あぶらの里」プロジェクト協議会
-------	-------------	--------	-----------------------

### 農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

#### ○事業の実施状況

●菜種油の商品開発のため菜の花を栽培するとともに、このプロジェクトの取組について取材を受けた。



●有機農法による効果的な営農を目指して先進地視察及び土壌調査を実施した。



●地元産の米を使用して、玄米茶・米粉の揚げパンを開発し、商品のパッケージ等を製作した。



●開発した商品について、意見を募るため、東京都内において試飲・試食を兼ねた展示会を開催した。



#### ○今後の事業構想

令和元年度で開発した商品のブラッシュアップを行うとともに大豆を作付し、その大豆を活用した商品を開発する。  
また、田万里の景色と暮らしコミュニティの様子を伝えるPRムービーを作成し、開発した商品の販路の開拓を専門家のアドバイスを受けながら実施する。